

報道関係者各位

会 社 名 株 式 会 社 カ プ コ ン
代 表 者 名 代表取締役社長 辻本春弘
(コード番号：9697 東証プライム)
連 絡 先 広 報 I R 室
電 話 番 号 (0 6) - 6 9 2 0 - 3 6 2 3

**2027 年 3 月期第 1 四半期決算の連結業績は、
前年同期比で増収増益、通期計画に対し順調な滑り出し
～ 完全新規 IP やリピート販売が好調に推移し、業績をけん引 ～**

株式会社カプコンの 2027 年 3 月期第 1 四半期連結業績（2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）は、売上高は 704 億 10 百万円（前年同期比 54.7%増）、営業利益は 410 億 54 百万円（前年同期比 66.9%増）、経常利益は 414 億 52 百万円（前年同期比 81.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 291 億 59 百万円（前年同期比 69.2%増）となりました。

当第 1 四半期は、中核事業であるデジタルコンテンツ事業において、完全新規 IP『プラグマタ』が、積極的なプロモーション等により認知拡大を図った結果、発売直後から好評を博し、全世界で販売本数 250 万本を突破しました。リピート作においては、「バイオハザード」シリーズの最新作が引き続きグローバルに幅広いユーザーから支持を集めるとともに、価格施策により同シリーズの過去作販売も続伸しました。加えて、『デビル メイ クライ 5』では、映像作品との連携を行うなど、新たなファン層の開拓に向けた幅広い施策が奏功しました。これにより、当第 1 四半期の販売本数は 2,381 万本と、前年同期の 1,416 万本を上回り、業績をけん引しました。

アミューズメント施設事業では、既存店の堅実な運営および新業態の出店効果が、アミューズメント機器事業では新機種の販売が、それぞれ収益に寄与しました。その他事業では、当社の IP を活用した映像化、グローバル規模での e スポーツ大会の開催、ならびにキャラクターグッズや各種イベントなどの展開を通じ、積極的な IP の認知度拡大に努めました。これらの取り組みにより、当第 1 四半期は通期計画に対し順調に推移しております。

なお、2027 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、2026 年 5 月 13 日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

1. 2027 年 3 月期第 1 四半期 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2027 年 3 月期第 1 四半期	70,410	41,054	41,452	29,159	69. 71
2026 年 3 月期第 1 四半期	45,502	24,597	22,883	17,238	41. 21

2. 2027 年 3 月期 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2027 年 3 月期	210,000	83,000	83,000	58,000	138. 65

(注) 当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無